

平成28年度 商店街若者協働プロジェクト事業

第1回若者チームWS 議事録

平成28年 4月22日

【次第】

- 18:30 まかない夕食
↓ 会場の使用説明
18:55 後片付け
19:00 開会
参加者自己紹介
本事業の概要説明
平成27年度事業報告資料説明
【質疑応答】
20:00 WS

<会場使用説明>

- ① 私物は別場所に集積すること
当面は筆記用具程度でOK
- ② まかない夕食は基本セルフサービス
- ③ 飲料もセルフで、冷蔵庫利用可
食器、カップ等は洗い物かごへ
- ④ 飲食後はゴミ分別集積のこと
- ⑤ トイレの位置、使用方法確認
- ⑥ 事務機等利用可、使用方法は順次
事務用備品類、コピー機等

テーマ「今年度事業について、私が担当するなら、どの事業？」

- 具体案A 商店街内の新しい拠点の開設
具体案B イベントに絡めた新しいソフト事業活動
具体案C 地域と若者とをつなぐ新しいコミュニケーションツール
※具体案D 居住環境の改善を含む世代間交流

- 20:45 発表会（情報の共有化作業）
21:00 閉会

ついでに、
プロジェクト名も考えてみよう！
※ 若者チーム？
プロジェクト意見交換会？

今年度のスケジュール

- 5月13日（金）第2回若者チームWS
6月10日（金）第3回若者チームWS
7月 8日（金）第4回若者チームWS
7月22日（金）プロジェクト意見交換会
8月 5日（金）第5回若者チームWS
8月26日（金）第6回若者チームWS
9月15日（金）第7回若者チームWS
10月14日（金）第8回若者チームWS
11月11日（金）第9回若者チームWS
11月25日（金）プロジェクト意見交換会
12月16日（金）第10回若者チームWS

研修・イベント等スケジュール

- 5月 1日（日）スタンプラリー参加
5月14日（土）先進地視察（県内）
6月 5日（日）第48回葛天
6月12日（日）先進地視察（県内）
7月30日（土）商店会祭り
8月20日（土）第49回葛天
9月 5日（月）若者チーム研修会
10月16日（日）第50回葛天
11月 3日（祝）キテミテキタク2016

第1回若者チーム議事録 登録メンバー及び関心ポイント

平成28年 4月22日現在

NO	氏名	所属等	住所	出身	関心ポイント
1	いまの 今野 佑紀	高志中等一貫高 3年	白新町	地元っ子	A・B
2	おおかわ 大川 真穂	豊栄高校 3年	上大口	地元っ子	C
3	おくむら 奥村 郁美	新発田商業高校 3年	かぶと山	地元っ子	C
4	すずき 鈴木 ちなみ	新潟医療福祉大学 1年	白新町	宮城県栗原市	欠
5	かの 鹿野 愛恵	新潟医療福祉大学 2年	太田甲	宮城県	C
6	ささき 佐々木 陽菜	新潟医療福祉大学 2年	白新町	福島県郡山市	C
7	ふかや 深谷 実里	新潟医療福祉大学 2年	下大口	新潟県寺泊町	欠
8	さとう 佐藤 望美	新潟医療福祉大学 2年	石動	山形県	C
9	ほんま 本間 沙季	新潟医療福祉大学 2年	白新町	新潟県柏崎市	A
10	ほんだ 本田 和輝	食育保育専門えぷろん 2年	前新田	地元っ子	A
11	かんの 菅野 亘	新潟医療福祉大学 4年	木崎	福島県郡山市	A
12	いしくろ 石黒 咲	新潟医療福祉大学 OB	下大口	秋田県	A
13	しまくら 島倉 晶志	豊栄駅前通商店街	白新町	地元っ子	C
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	氏名	所属等	住所	備考	
委員長	ながおか 長岡 敏郎	駅前通商店街 理事 長岡屋	白新町	神奈川県	C
事務局	よこやま 横山 正隆	// 理事 横山産業	上大口	地元っ子	B
会計	とよさき 豊崎 善弘	// 理事 とよさき時計店	白新町	地元っ子	
運営	しまくら 島倉 尚志	// 理事 島倉駅前薬店	白新町	地元っ子	B
運営	よこやま 横山 とねよ	// 横山産業	上大口	宮城県	
担当	よしざわ 吉澤 裕太	新潟市北区産業振興課	東区	新潟市東区	

平成28年度「商店街若者協働プロジェクト」事業案

1. 事業目的

これまで機会の少なかった地域の将来を担う若者の発想と活力を積極的にとりいれ、商店街が若者と協働して、北区における商業の衰退、人口減少などに伴う街の活力の低下を食い止め、商店街の賑わいを創出するため。また、若者の地域における社会経験や世代間交流の機会を提供し、地域の将来を担う人材づくりやつながりの創出につなげるため。

2. 事業内容

これまでの商店街と若者との意見交換を通して提案された、若者にとって魅力ある商店街のアイデアをもとに、さらに多様な主体による意見交換を重ね、若者の発想や活力を取り入れて具体的な事業計画の作成に向けて内容を検討する。

《平成27年度事業による提案内容》

- ①【商店街内の新しい拠点の開設】⇒事業内容についてさらに詳細検討
- ②【イベントに絡めた新しいソフト事業活動】⇒事業支援体制の構築の面から検討
- ③【地域と若者をつなぐコミュニケーションツール】⇒可能な範囲で具体的に着手
- ※④【居住環境の改善を含む世代間交流】⇒今年度本事業検討対象外

3. 事業計画

(1) 事業の進め方

- ①学生をはじめ若者を中心としたチームの組織化とワークショップの実施
月1回程度 金曜日 PM7時～9時 ※別枠WSも検討中
- ②商店街・地域・若者からなる「合同ワークショップ」の開催
年3回程度 7月、11月、1月予定（会場は豊栄商工会館予定）
- ③必要に応じた商店街・事業への適切な認識を得るための研修・調査・視察等の実施
春～夏 県内先進地視察 2回程度、 県外先進地視察 1回程度
- ④魅力ある商店街づくりのための具体的な「事業計画書」のとりまとめ
(例：目的、コンセプト、概要、想定効果、主体、担い手、費用、資金計画、スケジュール、等)

(2) 事業を進めるにあたっての注意点

- ①女性（特に子育て世代）や若手青年部層の参加または意見聴取の機会創出
⇒日付・時間・場所・手法等の工夫
- ②若者が闊達に意見を述べることのできる場づくりへの配慮
- ③大学生以外の地元の若者（高校生・中学生・青年部等）の参加
- ④効果的なPR手法の工夫（PR手法自体に若者視点を取り入れる）
- ⑤若者にとって購買したくなる魅力ある商店街の視点に限らず、若者の視点から広くターゲットを想定し魅力ある商店街の模索を行う。

《若者主体の活動とするために》

- ①プロジェクト名の命名
- ②若者目線からの本事業（メンバー募集含む）及び商店街のPR方法の提案
- ③その他、事業全般において可能な限りの若者の発想の積極的な活用

（3）スケジュール

＜Step1＞4～5月

- ・継続参加の学生を中心とした募集・PR活動の実施とアイデアのさらなる検討
⇒今年度検討していくアイデアの絞り込み（方向性の共有）。

＜Step2＞6～8月

- ・具体的な提案を進めていく事業コンセプトの共有と事業内容の検討
- ・8月末の自治協議会「区づくり予算」提案に向けた事業計画のとりまとめ

＜Step3＞9～12月

- ・事業化に向けたより詳細な事業計画のとりまとめ
- ・事業化に向けた各種関連補助制度申請等の資金確保や事業体制の構築

＜Step4＞1～3月

- ・事業主体による拠点整備に向けた準備作業

4. 事業主体

- ◎豊栄駅前通商店街振興組合：事務局運営，ワークショップへの組合員の参加
- ◎地域関係団体（大学，高校，コミュニティ協議会，等）：事業への参加及び募集協力
- ◎北区産業振興課：事業窓口，事業支援，事務局運営サポート

※5. 事業推進のための活動

＜広報活動＞①ちらし・パンフレットの配布及び掲示

※新潟医療福祉大学、敬和学園大学、新潟県立大学、豊栄高校、敬和学園高校、
豊栄地区公民館、北地区公民館、豊栄児童センター、早通児童センター
豊栄コミセン、豊栄商工会青年部・女性部、商店会連合会、JR 豊栄駅

②HPによる活動報告 ※まちづくり豊栄HPでの活動報告紹介

③北区自治協議会 産業振興部会への事業報告

＜研修活動＞①先進地視察研修

県内：新潟市内、新発田市、村上市、見附市、長岡市 等

県外：佐賀県佐賀市、長崎県佐世保市（予定）

②コミュニティビジネス研修（豊栄地区公民館主催）

③販わい創出活動の体験